



加治川・胎内川周辺地域における 減災対策協議会

新潟県新発田地域振興局地域整備部

昭和41年7月17日加治川破堤西名柄向中条

協議会の経過 ～目的と開催状況～

目 的

平成27年9月関東・東北豪雨や平成28年8月台風10号等により甚大な被害が発生したことを踏まえ、河川管理者、県、市、町等が連携・協力して、減災のための目標を共有し、ハード対策とソフト対策を一体的、計画的に推進することにより、加治川・胎内川周辺地域において氾濫が発生することを前提として社会全体で常に洪水に備える「水防災意識社会」を再構築することを目的とする。

<開催状況>

○ 第1回（平成29年2月14日開催）

当協議会を設立するとともに、水防災意識社会再構築ビジョンに基づく取組等について情報共有。

○ 第2回（平成29年6月7日開催）

減災のための目標、令和3年までの概ね5年で実施する「加治川・胎内川周辺地域の減災に係る取組方針」を策定。

○ 第3回（平成30年6月14日開催）

第4回（令和元年6月6日開催）

第5回（令和3年1月7日書面開催）

第6回（令和3年5月27日開催）

第7回（令和4年2月24日開催）

令和3年までの5カ年の取組状況について確認し、見直しを加え、令和4年から令和8年のまでの取組方針を作成。

○ 第8回（令和5年7月11日書面開催）

第9回（令和6年7月8日書面開催）

第10回（令和7年6月3日書面開催）

今年度は令和4年から令和8年の取組を踏まえて、次期方針の見直し必要。

加治川・胎内川周辺地域の減災に係る 取組方針(令和4年2月24日) ～減災のための目標～

5年間(令和4年度～令和8年度)で達成すべき目標

水位上昇が早い加治川・胎内川周辺地域の河川は、山間部を流下する河川特有の流下型の氾濫と平野部における拡散型の氾濫といった河川特性を持ち、迅速な対応が求められている中、昭和42年羽越水害等の過去の水害の教訓を踏まえ、加治川・胎内川周辺地域の二級河川の大規模水害に対し、

『迅速かつ確実な避難ができる地域防災力の向上』

を目標とする。

※ 大規模水害 …… 想定し得る最大規模降雨に伴う洪水氾濫による被害。

※ 迅速かつ確実な避難 …… 急激な水位上昇など住民自らがリスクを察知し、状況に応じた確実な避難ができる状態。

※ 地域防災力の向上 …… 個々の防災意識を高め地域全体の防災力向上のため「自助・共助・公助」の連携を図る。

目標達成に向けた3本柱の取組

- ① 加治川・胎内川周辺地域における特徴を踏まえた避難に関する取組
- ② 氾濫被害の軽減や避難時間確保のための水防や流域対策の取組
- ③ 地域防災力向上のための継続的な取組

加治川・胎内川周辺地域の減災に係る 取組方針(令和4年2月24日) ～概ね5年で実施する取組～

ハード対策の主な取組

- 洪水氾濫を未然に防ぐ対策
- 危機管理型ハード対策(堤防天端保護)

ソフト対策の主な取組

① 円滑かつ迅速な避難行動のための取組

■ 情報伝達、避難計画等に関する取組 (赤字: R4.2追加等)

- ・想定最大規模も含めた洪水浸水想定区域図、家屋倒壊等氾濫想定区域の公表
- ・想定最大規模も含めた洪水浸水想定区域図の作成・公表を中小河川に拡大
- ・立ち退き避難が必要な区域及び避難方法の検討
- ・広域的な避難計画等を反映した新たな洪水ハザードマップの策定・周知
- ・浸水実績などを把握し、水害リスク情報として住民等に周知する制度への対応
- ・リアルタイムの情報提供やプッシュ型情報発信等の防災情報の充実
- ・避難指示の発令等に着目した防災行動計画(タイムライン)の整備及び検証と改善
- ・気象情報発信時の「危険度の色分け」「早期注意状況(警報級の可能性)」「キキクル(危険度分布の予測)」の提供・利用促進。
- ・気象情報の充実、予測精度の向上。
- ・円滑な避難活動や水防活動を支援するため、水位計(危機管理型水位計含む)や量水標等による監視の継続と効果の検証。
- ・簡易型河川監視カメラによる監視の継続と効果の検証
- ・ホットラインの実施、検証及び改善

ソフト対策の主な取組

■ 平時から住民等への周知・教育・訓練に関する取組（赤字：R4.2追加）

- ・住民の防災意識を高め、地域防災力向上のための広報や資料の作成・配布等の啓発活動
- ・土砂災害の防災体制強化・防災意識向上を促進するための取組を実施
- ・小中学校等における防災教育や出前講座等を活用した説明会の実施
- ・新潟県マイ・タイムライン教室の活用等によるマイ・タイムラインの普及・啓発
- ・地域全体の防災力向上を図るため町内や自主防災組織等による訓練の実施
- ・地域防災支援者としての防災士養成・研修の実施

② 洪水氾濫による被害の軽減及び避難時間確保のための取組

■ 水防活動の効率化及び水防体制強化に関する取組（赤字：R4.2ハード対策の主な取組からの付替）

- ・既存ダムの事前放流
- ・田んぼダムの活用
- ・水防資機材の配備
- ・水防団等への連絡体制の確認と関係機関が連携した実践的な訓練
- ・関係機関や水防団が参加した洪水に対するリスクの高い箇所の手回し点検の実施
- ・関係機関が連携した水防工法演習等を実施
- ・水防活動の担い手となる水防協力団体等の募集・認定を促進
- ・国が開催する地方自治体職員等を対象とした水防技術講習会等に参加

■ 避難行動要支援者の円滑かつ迅速な避難に関する取組（赤字：R4.2追加）

- ・要配慮者利用施設による避難確保計画の作成及び避難訓練の実施に向けた支援を実施
- ・避難行動支援者ごとに避難支援を行う者や避難先等を記載した個別避難計画を作成

概ね5年で実施する取組

継続的な取組

■ 地域防災力向上のための継続的な取組

継続的な取組により住民自らが災害や防災への興味・関心を高め、「自分の命は自分で守る」という主体的な姿勢を育み『災害から生き抜く力』を身に付け、さらには世代間の継承、災害に強い加治川・胎内川周辺地域の文化を形成します。

『迅速かつ確実な避難ができる地域防災力の向上』

取組方針に基づく取組状況

（令和6年度）

～ハード対策の主な取組～

洪水氾濫を未然に防ぐ対策

➤ 加治川、胎内川、落堀川等の河川改修【新潟県】

【実施概要】

新潟県では、平成16年の「7.13水害」、平成23年7月の「新潟・福島豪雨」という大水害で尊い命が失われていることから『人命を守る治水』を目標として治水事業に取り組んでいます。

河川改修事業については、河川の現況治水安全度や災害実績を考慮した「緊急度」、氾濫した場合の影響を考慮した「危険度」、社会情勢等を考慮した「重要度」の観点から総合的に評価した「優先度」に基づき選択と集中により事業進捗を図っています。

・R4実施河川：二級河川 柴橋川

柴橋川の河川改修事業の状況



矢板護岸及び地盤改良

洪水氾濫を未然に防ぐ対策

➤ 河川内の河床掘削、伐木などの維持管理【新潟県】

【実施概要】

新潟県では、緊急浚渫推進事業債を活用しながら、管内各河川で河道掘削工事・伐木業務委託を進めています。

溝足川（河床掘削）



加治川（伐木）



取組方針に基づく取組状況

～ソフト対策の主な取組～

情報伝達、避難計画等に関する取組

➤ 想定最大規模も含めた洪水浸水想定区域図、家屋倒壊等氾濫想定区域の公表 【新潟県】

- ・加治川・胎内川における想定最大規模の洪水浸水想定区域図、家屋倒壊等氾濫想定区域の公表

【実施概要】

- 平成29年12月に二級河川加治川水系の3河川の浸水想定区域図、家屋倒壊等氾濫想定区域等を公表
 - ・公表年月日 : 平成29年12月12日
 - ・対象河川 : 二級河川 加治川水系 加治川、姫田川、坂井川
- 平成30年7月に二級河川胎内川水系の1河川の浸水想定区域図、家屋倒壊等氾濫想定区域等を公表
 - ・公表年月日 : 平成30年7月13日
 - ・対象河川 : 二級河川 胎内川水系 胎内川
- 令和4年3月に二級河川落堀川水系の洪水浸水想定区域図、家屋倒壊等氾濫想定区域等を公表。
 - ・公表年月日 : 令和4年3月29日
 - ・対象河川 : 二級河川 胎内川水系 落堀川、舟戸川、他11河川

情報伝達、避難計画等に関する取組

- **想定最大規模も含めた洪水浸水想定区域図の作成・公表を中小河川に拡大** 【新潟県】
 - ・28河川の作成に着手し、完了
- **広域的な避難計画等を反映した新たな洪水ハザードマップの策定・周知** 【各市町】
 - ・洪水ハザードマップの見直しを行い、全戸配布により周知済み

【実施概要】

新発田市

- ・加治川の想定最大規模の降雨による洪水浸水想定区域(ハザードマップ)を公開し、全戸に配布済み

胎内市

- ・胎内川水系及び落堀川水系のハザードマップを作成し全戸配布。あわせて市HPに掲載済み
- ・胎内市防災ガイドブック内、水害ハザードマップを更新し、全戸へ配布済(R6.3)

聖籠町

- ・加治川の想定最大規模の洪水浸水想定区域を踏まえた洪水ハザードマップを作成し、全戸に配布済み。あわせて町HPに掲載済み。

情報伝達、避難計画等に関する取組

▶ リアルタイムの情報提供やプッシュ型情報発信等の防災情報の充実

・洪水時における水位等のプッシュ型配信の検討

【新潟県】

【実施概要】

(1) 簡易型河川監視カメラ設置を行い、映像データを「新潟県河川防災情報システム」(インターネット)において一般公開

(2) 平成29年4月1日より「新潟県土木防災情報システム」スマートフォン版サイト運用開始。

<URL> : http://doboku-bousai.pref.niigata.jp/kasen_s/

(3) 危機管理型水位計の基準水位超過情報を登録した行政機関へメールでプッシュ配信(R3～)

土木防災情報システムのスマートフォン版サイト



情報伝達、避難計画等に関する取組

➤ リアルタイムの情報提供やプッシュ型情報発信等の防災情報の充実

・防災・防犯情報一斉メールやエリアメール等の更なる普及のため周知・広報の実施【各市町】

【実施概要】

新発田市

- ・J-ALERT、防災行政無線、登録制メール、FMラジオ、ホームページ、SNSなど、これまでに複数の情報伝達手段を整備し、自治会向け「メール等情報配信システム」を運用している。
- ・登録制メールをLINEを連携させ、より多くの媒体での配信ができる体制を構築。**LINEでの登録者数は1000人を突破した。**

胎内市

- ・登録制メールをLINEを連携させ、より多くの媒体での配信ができる体制を構築。
- ・防災行政無線個別受信機全戸配布済み。**新たに防災アプリを導入(R6.3)し、現在、4520名の登録者数**

聖籠町

- ・従来からの防災行政無線の屋外スピーカー及び戸別別受信機、緊急速報メール・エリアメールに加え、防災行政無線とLINE・Twitter等を自動連携し、一括配信できるシステムを整備した。**(戸別受信機51.3%、LINE登録者3,438名、X登録者約1,000名)。**

【システム概要】



水防活動の効率化及び水防体制強化に関する取組事例

➤ 関係機関や水防団が参加した洪水に対するリスクの高い箇所の合同巡視の実施 【新潟県、各市町】

- ・新潟県や各市町、関係機関と重要水防箇所や水防資機材の合同巡視を実施

【実施概要】

出水期前に河川管理者（新潟県）と新発田市、胎内市と重要水防箇所や水防資機材の合同巡視を行うとともに、意見交換を実施。

- ・実施日：令和7年5月22日、23日（毎年、出水期前を目途に実施）
- ・参加者：新発田地域整備部、新発田市、胎内市

重要水防箇所等の合同巡視



水防活動の効率化及び水防体制強化に関する取組事例

➤ 関係機関が連携した水防工法演習等を実施 【新潟県、各市町】

- ・新潟県、全市町、新潟県建設業協会新発田支部等と合同で水防工法演習を実施

【実施概要】

- ・新潟県新発田地域振興局地域整備部、県建設業協会新発田支部により共催する加治川水防工法演習を実施。

- ・実施日：令和7年6月11日(水)
- ・場所：一般国道7号「加治川大橋」(左岸) 橋詰 河川敷
- ・参加者：新発田市、胎内市、新発田地区防災協議会

水防工法演習



会場の様子



積み土のう工



T型マット工

各機関の取組紹介

新発田市

(様式2-取組概要)

カテゴリー	被害の軽減、早期復旧・復興のための対策
内 容	避難支援セミナー2026in新発田
実施主体	新潟県、新発田市

個別避難計画などの共助の重要性について能登半島地震からの教訓を認識してもらい活動の活性化につなげる。また実際に取り組みされた自治会での活動事例や、パネルディスカッションを通じて活動内容の深掘りを行いながら紹介した。

【実施概要】

- ・ 日 時：令和8年2月1日（日）
- ・ 参加者：自主防災組織（自治会）、民生委員、福祉関係者ほか
- ・ 内 容：① 演題 令和6年能登半島地震・豪雨で何が起こったのか
～みなで支え合う避難と避難生活の実際～

講師 新潟大学危機管理センター 教授 田村 圭子 氏



□□□□講師 田村圭子 氏□□□□



□□□□会場の様子□□□□

胎内市

(様式2-取組概要)

カテゴリ	ソフト対策の主な取組 円滑かつ迅速な避難行動のための取組
内容	胎内市防災アプリの導入と登録について周知・広報を実施
実施主体	胎内市

令和6年3月に、新規で「胎内市防災アプリ」を導入。令和7年度においても、引続き、市報、ホームページにて登録について周知しているほか、自主防災組織や高齢者団体等の防災講話にて登録の呼びかけを実施。今後も多くの市民から登録いただけるよう引続き周知していく。

内容は、防災情報等の緊急情報や市からのお知らせ通知が、音声と文字で情報配信されるほか、災害時の避難所情報の確認、気象情報や新潟県河川防災情報などの各種防災情報がリンクされており、迅速に情報を取得することが可能となっている。また、災害時の安否確認等に活用するN T T災害用伝言版にもワンプッシュで到達できる。



胎内市の防災情報がスマホに届く!

台風

津波

地震

土砂崩れ

洪水

胎内市防災アプリ

防災行政無線がスマートフォンに直接届く！
QRコードからアプリを簡単ダウンロード！
登録や設定も簡単！

もしものために準備しましょう！

- 全国どこでも胎内市の情報を受信可能です
- 防災行政無線の放送と同じ情報が届きます
- 災害時、家族の安否確認にも活用できます
- 気象情報もプッシュ通知で届きます

迅速・正確な情報で助かる命がある

- 1 QRコードからアプリをダウンロードできるのね
- 2 大雨で土砂崩れの危険があります！〇〇地区の人は今すぐ避難してください！
- 3 避難所まで早くそこ！急ごう！
- 4 避難所 避難情報がすぐに届いて助かったのね

アプリのダウンロードはこちら！

Apple 製品の場合

Android 製品の場合

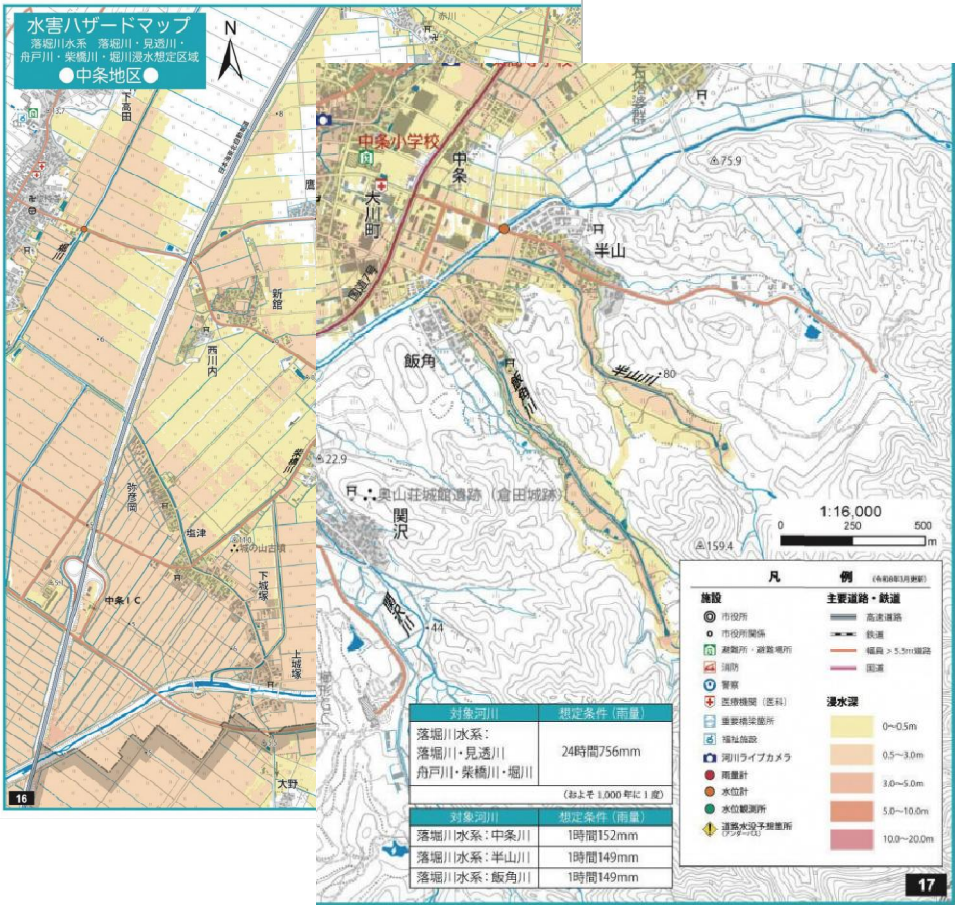
アプリの導入・使用方法などは次ページをご確認ください。

胎内市役所 総務課防災対策係
〒959-2693 新潟県胎内市新和町2番10号
TEL: 0254-43-6111 (代表) FAX: 0254-43-5502

(様式2-取組概要)

カテゴリ	ソフト対策の主な取組 円滑かつ迅速な避難行動のための取組
内容	防災ガイドブックの更新(水害ハザードマップ)
実施主体	胎内市

令和7年11月に新たに県で指定した、二級河川（胎内川水系、落堀川水系、加治川水系）の洪水浸水想定区域について、令和8年3月に当市のハザードマップを更新し全世帯へ配布。
今後も、浸水想定区域の見直し等があった場合、速やかに同マップの改定を行い。住民へ周知していく。



(様式2-取組概要)

区分1	ソフト対策の主な取組 円滑かつ迅速な避難行動のための取組
対策内容	より迅速で確実な防災情報の伝達が行えるよう、防災行政無線の再整備を実施
実施主体	胎内市

より迅速で確実な防災情報の伝達が行えるよう、防災行政無線システム再整備工事を実施。
(令和5年度から令和7年度) ※令和7年度完成

【主な再整備内容】

- ・ 通信方式の変更（同報系：16QAM→QPSK 通信エリアの拡大、音声の品質良）
- ・ 屋外拡声子局の増設（47局→74局 市内生活圏域全てに情報伝達が可能）
- ・ 高性能スピーカーに変更（新設の屋外拡声子局、既存の子局に高性能スピーカー設置）
- ・ 防災行政無線の遠隔操作機能（迅速な情報伝達の整備として、遠隔操作機能を追加）
- ・ 市防災行政無線と消防署のシステムを連動
- ・ 市防災行政無線と令和6年3月に導入した防災アプリを連動（Jアラート連携等）

(様式2-取組概要)

区分1	ソフト対策の主な取組 平時から住民等への周知・教育・訓練に関する取組
対策内容	自主防災組織への支援(防災活動や資機材整備への補助金支給など)
実施主体	胎内市

当市では、自主防災組織育成事業補助金により、避難訓練や講演などの活動、防災士の育成、資機材整備等、自主防災組織への支援を行っている。地域の防災活動が活性化することにより、平時から防災知識の向上、防災意識の高揚が図られ、有事の際の迅速避難等、被害軽減に繋がる。

また、土・日・祝日を問わず各自主防災組織の日程に合わせ、市職員による防災講話等実施。
(令和7年3月31日現在、自主防災組織率：98.01%)

【補助金の額】 補助対象経費の2/3以内

【交付回数】 年度1回

【限度額】 初回：30万円、2回目から3回目：20万円、4回目以降：10万円

ほか、別に防災士育成（資格取得）補助



新潟地方気象台

(様式3-新たな課題や取組)

新しい防災気象情報（警戒レベル相当情報）

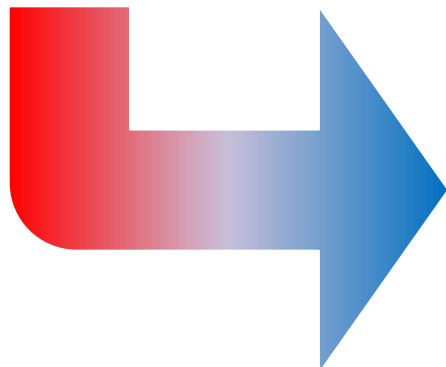
現在

警戒レベル 相当情報	指定河川 洪水予報	洪水	大雨浸水	土砂災害	高潮
5	氾濫 発生情報	大雨 特別警報 (浸水害)		大雨 特別警報 (土砂災害)	高潮氾濫 発生情報
<警戒レベル4までに危険な場所から かならず避難！>					
4	氾濫 危険情報			土砂災害 警戒情報	高潮特別警報 高潮警報
3	氾濫 警戒情報	洪水 警戒	大雨 警戒 (浸水害)	大雨 警戒 (土砂災害)	(警報に切り替える 可能性の高い) 高潮注意報
2	氾濫 注意情報	洪水 注意報	大雨 注意報		高潮 注意報
1	早期注意情報				

令和8年5月下旬から				
警戒レベル 相当情報	河川氾濫 1級河川などの 大河川の氾濫	大雨 低地の浸水や 大河川以外の氾濫	土砂災害 急傾斜地のがけ崩れや 土石流	高潮 海水面の上昇や 波のうちあげによる浸水
5	レベル5 氾濫 特別警報	レベル5 大雨 特別警報	レベル5 土砂災害 特別警報	レベル5 高潮 特別警報
＜警戒レベル4までに危険な場所から かならず避難！＞				
4	レベル4 氾濫 危険警報	レベル4 大雨 危険警報	レベル4 土砂災害 危険警報	レベル4 高潮 危険警報
3	レベル3 氾濫 警報	レベル3 大雨 警報	レベル3 土砂災害 警報	レベル3 高潮 警報
2	レベル2 氾濫 注意報	レベル2 大雨 注意報	レベル2 土砂災害 注意報	レベル2 高潮 注意報
1	早期注意情報			

情報名称だけでは
とるべき行動がわかりにくい

- ・名称がバラバラ（警報？警戒情報？）
- ・警戒レベルに対応する情報が無い
など…



レベルの数字で、とるべき行動が分かる！

- ・情報名称そのものに、レベルの数字が付く
「レベル〇＋現象名＋警報等の種別」という構成に統一化
- ・警戒レベル4相当の情報として危険警報を新設
- ・大河川以外の河川氾濫への注意・警戒は大雨の情報に統一

気象防災速報・気象解説情報

- 警戒レベル相当情報やそれ以外の警報等を補足する情報として、線状降水帯など**顕著現象が発生または発生しつつある場合に「気象防災速報」を発表します。**
- 現在・今後の気象状況や災害発生の危険度の見通しなどを網羅的に解説する情報として、「気象解説情報」も適宜に発表します。

気象防災速報 ……極端な現象を速報的に伝える情報（府県単位でのみ発表）

現状

記録的短時間大雨情報

顕著な大雨に関する気象情報

顕著な大雪に関する気象情報

竜巻注意情報

今後（令和8年度出水期～）

気象防災速報（記録的短時間大雨）

気象防災速報（線状降水帯発生）

気象防災速報（線状降水帯直前予測）

（R8運用開始予定）

気象防災速報（短時間大雪）

気象防災速報（竜巻注意/竜巻目撃）

気象解説情報 ……現在・今後の気象状況を網羅的に解説する情報（全国・地方・府県単位で発表）

現状

線状降水帯半日前予測を記載した
全般/地方/府県気象情報

全般台風情報(総合情報)

大雨に関する
全般/地方/府県気象情報

今後（令和8年度出水期～）

気象解説情報（線状降水帯半日前予測）

気象解説情報（台風第○号）

気象解説情報（大雨）

早期注意情報・時系列情報

- 早期注意情報（警戒レベル1）は、5日先までの警報級の現象の可能性を発表
- 時系列情報は、警報・注意報に先立って、翌日までの気象状況の見通しを、毎日4回発表

早期注意情報（警報級の可能性）

	1日	2日					3日	4日	5日	6日
警報級の可能性	18-24	00-06	06-12	12-18	18-24	00-12	12-24			
大雨	-	[中]	[高]	[中]	-	-	-	-	-	-
土砂災害	-	[中]	[高]	[高]	[中]	[中]	-	-	-	-

明後日までを対象とした情報について、現行では大雨に含まれる土砂災害の警報級の可能性を切り分けて発表するとともに、現行よりも情報の時間幅を細分化。

時系列情報（明日までの警報等の見通し）

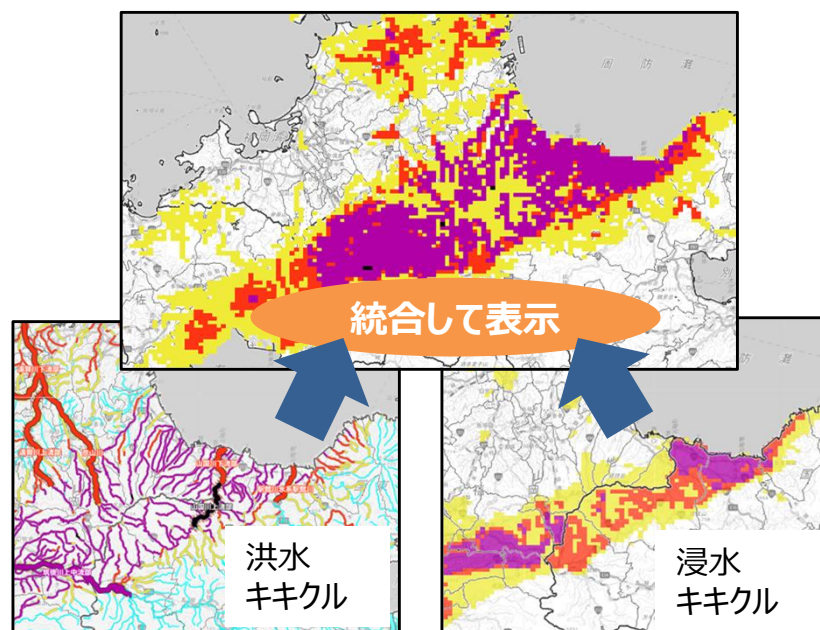
〇〇市の時系列情報（明日までの警報等の見通し）														
2026年XX月XX日11時00分発表														
〇〇市	地域	12-15	15-18	18-21	21-24	00-03	03-06	06-09	09-12	12-15	15-18	18-21	21-24	30日
1時間最大雨量(mm)					10	30	50	50	30	20	10			
2-4時間最大雨量(mm)					200				200					
大雨														
土砂災害														
暴風(m/s)	陸上	5	10	15	25	25	25	25	25	25	25	15	5	
	海上	10	15	25	30	30	30	30	30	30	30	20	10	
6時間最大降雪量(cm)														
24時間最大降雪量(cm)														
大雪														
波浪(m)		2	4	6	8	8	8	8	8	8	8	5	2	
高潮	潮位(m)	0.5	0.5	0.5	0.5	1.0	1.0	1.0	1.0	1.5	1.5	1.0	0.5	
雷														
融雪														
濃霧	陸上													
	海上													
着氷														
着雪														
乾燥	実効湿度(h)			80					90				70	
	最小湿度(h)			80					90				70	
なだれ														
低温														
霜														

災害切迫	特別警報基準を超えると予想される時間帯
危険	危険警報基準を超えると予想される時間帯 (土砂災害、高潮については、危険警報発表の可能性のある時間帯)
警戒	警戒基準を超えると予想される時間帯 (土砂災害、高潮については、警戒発表の可能性のある時間帯)
注意	注意報基準を超えると予想される時間帯 (高潮については、注意報発表の可能性のある時間帯)

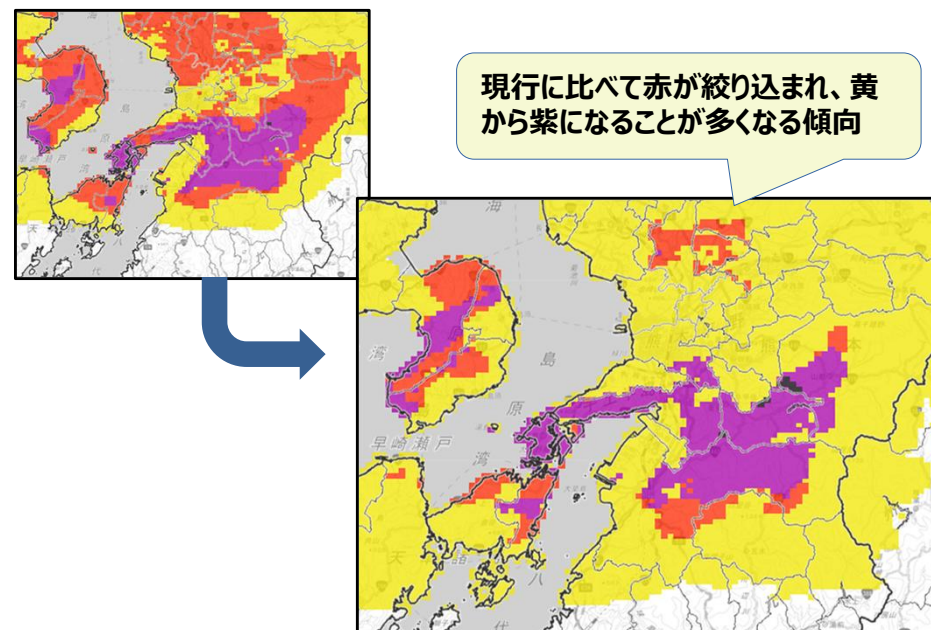
キキクル

- 大雨や土砂災害に関する情報が発表された際、**危険度が高まっている地域を確認**するにはキキクルを活用してください。
- 「**大雨キキクル**」は、**大河川以外の河川の氾濫と浸水の危険度を重ねて表示**するもので、大雨に関する情報に対応しています。
- 「**土砂キキクル**」は、土砂災害の危険度を表示するものです。表示方法は従来と変わりませんが、以下の特性の変化に留意が必要です。
 - 現行に比べ、警戒（赤色）の判定が狭く、**注意（黄色）から危険（紫色）のケースが多くなります。**
 - 4～6時間先に警戒レベル4相当の基準に達すると予想してレベル3土砂災害警報を発表した場合には、**警戒（赤色）の判定が出ていないことがあります。**

大雨キキクル（イメージ）



土砂キキクルの特性変化（イメージ）



気象庁HPでは現行の洪水キキクルと浸水キキクルも切り替えて閲覧可能